

## ～臨床情報・検体の研究利用に関するお知らせ～

『研究課題名 高尿酸血症に対する尿酸生成抑制薬と尿酸排泄促進薬による腎保護効果の比較検証(後方視的研究)』

研究機関名 東邦大学医療センター大橋病院

研究責任者 腎臓内 科 職位・氏名 院内助教・植松 光

### 【試料・情報の利用目的】

本研究では慢性腎臓病に該当する患者さんを対象に、高尿酸血症の治療が腎機能に与える影響を評価します。

2020年1月～2024年9月に、東邦大学医療センター大橋病院において、高尿酸血症の治療薬であるフェブキソスタット(フェブリク)、アロプリノール(ザイロリック)、ドチヌラド(ユリス)を新規に処方された患者さんを対象として、診療録(カルテ)を遡り、治療前後の数値データを確認します。対象の患者さんは、診療科を問わず、新規に上記の薬剤による治療が開始された(eGFRによる慢性腎臓病の診断基準に関わらず、慢性腎臓病の発症・罹患のリスクがある)患者さんを想定しています。

これらの情報は、高尿酸血症に対して尿酸降下薬が腎機能に及ぼす影響を評価するために利用します。本研究で得られる成果は、将来的に慢性腎臓病の進行抑制の足がかりとなり、長期的な視点で、腎代替療法(血液透析など)を必要とする、末期腎不全の患者数の減少につながることを期待されます。

### 【他機関への提供】

他機関への提供は行わないため該当しません。

### 【研究に用いられる試料・情報】

情報:血液、尿検査の数値データ、病歴、治療歴 等

研究に利用する情報は、患者さんのお名前、住所など、個人を特定できる情報は削除して管理します。また、今回の研究で得られた成果を、医学的な専門学会や専門雑誌等で報告することがありますが、個人を特定できる情報を報告・公開することはありません。

### 【試料・情報の利用または提供を開始する予定日】

2024年10月より利用を開始します。

### 【試料・情報の提供を行う機関の名称及びその長の氏名】

他機関への提供は行わないため該当しません。

### 【試料・情報の取得方法】

対象者:2020年1月～2024年9月に、高尿酸血症の治療薬であるフェブキソスタット(フェブリク)、アロプリノール(ザイロリック)、ドチヌラド(ユリス)を新規に処方された患者さんを対象としています。研究代表者が、診療科を問わず、当院で上記薬剤の処方歴があり、定期的な血液検査を受けられている方を調査します。

方 法:約100人を想定します。後日、診療録(カルテ)から抽出した情報を解析します。

**【研究組織】**

代表施設名：東邦大学医療センター大橋病院腎臓内科

研究代表者：植松 光 役職：院内助教

**【利用する者の範囲】**

研究責任者は腎臓内科に所属する院内助教・植松光です。データの解析にあたる共同研究者は、准教授・田中友里、教授・常喜信彦です。

**【試料・情報の管理について責任を有する者の名称】**

東邦大学医療センター大橋病院腎臓内科 院内助教・植松 光、准教授・田中友里、教授・常喜信彦

本研究に関してご質問のある方、試料や情報を研究に利用することを承諾されない方は、2024年11月30日までに下記へご連絡下さい。尚、患者さんの親族(代諾者)の方も本研究への参加承諾を拒否することができます。申し出のあった方の試料・情報は、利用しません。その場合でも、今後患者様に不利益になることはありません。

**【連絡先および担当者】**

東邦大学医療センター大橋病院 腎臓内 科

職位・氏名 院内助教・植松 光

電話 03-3468-1251 内線 7945